

会報誌

2024 年 10 月号 ボリューム 351、
未来への道しるべ、生涯学習制度、
公益社団法人日本理学療法士協会、
Japanese Physical Therapy Association

内容

【2-3 ページ】	3
特集、未来への道しるべ 生涯学習制度、	3
なぜ生涯学習制度が必要なの？	3
生涯学習制度 3つのポイント、	3
1～2 年目で学ぼう！前期研修、	3
3～5 年目で学ぼう！後期研修、	3
5 年、登録理学療法士	4
認定理学療法士制度、	4
専門理学療法士制度、	4
【4 ページ】	5
前期研修、	5
前期研修カリキュラム、	5
学びのススメ、	6
【5 ページ】	7
後期研修、	7
後期研修カリキュラム、	7
士会主催症例検討会、	8
POINT、	9
【6-7 ページ】	11
登録理学療法士、	11
登録理学療法士になると何ができる？	11
登録理学療法士更新、	12
登録理学療法士の更新要件、	12
ポイントの取得（50 ポイント）※1 時間＝1 ポイント、	12
【8-9 ページ】	14
より高い専門性へ、臨床実践分野において秀でている理学療法士、認定理学療法士、	14
認定理学療法士カリキュラム、	14

認定理学療法士に期待される 3 つの役割、	15
21 認定分野、	15
【10-11 ページ】	16
より高い専門性へ、学問的指向性の高い理学療法士、専門理学療法士、	16
専門理学療法士カリキュラム、	16
口頭試問、	16
専門理学療法士に期待される 3 つの役割、	17
13 専門分野、	17
認定・専門理学療法士の更新要件、	17
【12 ページ】	18
トップメッセージ、	18
【13 ページ】	19
一緒に 60 周年記念を祝おう！、World Physiotherapy の Michel Landry 会長からメッセ ージをいただきました、	19
【大会概要】、	19
仕事を守る、生活を守る理学療法士と政治活動、	20
【14 ページ】	21
生涯現役、人の笑顔を見たかった、高山 ふみひろ、	21
コツコツ学ぼう！、登録理学療法士更新ポイント問題回答、	22
【15 ページ】	23
INFORMATION、	23
マイページのご利用について、	23
クラブオフ 今回のおすすめ！	23
協会運営に関するご案内、	23
異動手続きについて、	24
休会・退会・復会の手続きについて、	24
【裏表紙】	25
HOTTOPICS、	25
JICA 海外協力隊連携派遣開始について、	25
「2024 職場における腰痛予防宣言！」にご参加ください、	25
日本理学療法士協会雑誌 Up to Date NEWS、第 2 巻 第 4 号 発刊予告！、	25
4 年制大学化推進部会シンポジウム開催のお知らせ、	25

【2-3 ページ】

特集、 未来への道しるべ 生涯学習制度、

なぜ生涯学習制度が必要なの？

生涯学習は、個人の成長だけでなく社会の発展にも役立つ大切な考え方です。その実践は、現代社会でますます重要になっています。本会では、多様化するニーズにこたえる理学療法士の育成を目指し、国民の皆さまに対して理学療法士の専門職としての質を保証するため、2022 年度から新たな生涯学習制度を導入しました。この制度では「5 年ごとの更新制」を取り入れており、理学療法士が生涯にわたって知識と技術を維持・向上させることが可能となっています。

生涯学習制度 3つのポイント、

- 1 本会へ入会した理学療法士は、まず「前期研修」を履修します。その次に「後期研修」を履修することで「登録理学療法士」となります。
- 2 「登録理学療法士」となった本会会員は、5 年ごとの更新を目安に自己研鑽を続けます。
- 3 登録理学療法士を基礎とし、より高い専門性を兼ね備える「認定理学療法士」、「専門理学療法士」制度を目指すことができます。5 年ごとの更新です。

理学療法士の資格を取得することは、キャリアのスタート地点です。ここから、生涯にわたる学びが始まります。

5 年ごとに設けられた更新制度は、日々の知識や臨床技能をアップデートしていく意味を持ちます。この制度に乗って、最新の知見を吸収していきましょう。

1～2 年目で学ぼう！前期研修、

A～D の受講をコンプリート！、

座学：22 コマ（33 時間）、

A：初期研修、

B：理学療法の基礎、

C：理学療法の専門性、

実地研修：32 コマ（48 時間）、

D：実地研修、

詳細は 4Page へ、

3～5 年目で学ぼう！後期研修、

A～F の受講をコンプリート！、

座学：51 コマ（76.5 時間）、

A：臨床推論、
B：臨床疫学、
C：領域別研修（座学）、
D：関連領域、
E：領域別研修（事例）（育成）、
F：最近の知見、
実地経験：3年（36ヵ月）、
詳細は 5Page へ、

5年、登録理学療法士
詳細は 6-7Page へ、

個人の成長、個人として、
新しい知識やスキルを習得することで、自己啓発や自己実現を達成できます。

社会参加、社会人として、
学び続けることで、社会の一員として積極的に関わり、貢献することができます。

職業能力の向上、理学療法士として、
急速に変化する労働市場に対応するためには、常に新しいスキルや知識を身につける必要があります。

認定理学療法士制度、
脳卒中、神経きん障害、脊髄障害、発達障害、運動器、切断、スポーツ理学療法、と手理学療法、循環、呼吸、代謝、健康増進・参加、地域理学療法、介護予防、補装具、物理療法、
じょくそう・そうしょうケア、疼痛管理、臨床教育、管理・運営、学校教育、
詳細は 8-9Page へ、

専門理学療法士制度、
基礎、神経、小児、運動器、スポーツ、しん血管、呼吸、糖尿病、地域、予防、支援工学、
物理療法、理学療法教育、
詳細は 10-11Page へ、

【4 ページ】

未来の姿をイメージしながら、そこに到達するためには、どんなことをどのくらいの時間で学べばいいのでしょうか？

Prologue、

大学を卒業し、新卒で病院に勤務することになりました。新しい環境と仕事に対する期待と不安が入り混じる中、先輩から日本理学療法士協会の生涯学習制度の話を聞いて、自己成長のためにこの制度を活用しようと決意しました。

前期研修、

1～2 年目最短履修期間：2 年間、

必要に応じて指導を求め、基礎的（ベーシック）理学療法を実践できるレベルに！

士会主催研修会（対面 or オンライン）、e ラーニング 入会初年度 9 月以降に視聴可、

前期研修カリキュラム、

A～C：座学 22 コマ（33 時間）、D：実地研修 32 コマ（48 時間）、

A 初期研修、

A-1 職業人と倫理 コマ数 1、

A-2 協会組織 コマ数 1、

A-3 人間関係および接遇 コマ数 1、

A-4 理学療法における関連法規 コマ数 1、

A-5 理学療法における情報管理 コマ数 1、

A-6 生涯学習について コマ数 1、

B 理学療法の基礎、

B-1 一次救命処置と基本処置 コマ数 1、

B-2 クリニカルリーズニング コマ数 1、

B-3 理学療法の研究方法論 コマ数 1、

B-4 統計方法論 コマ数 1、

B-5 症例報告・発表の仕方 コマ数 1、

B-6 リスクマネジメント コマ数 1、

C 理学療法の専門性、

C-1 神経系疾患の理学療法 1、2、 コマ数 2、

C-2 運動器疾患の理学療法 1、2、 コマ数 2、

C-3 内部障害の理学療法 1、2、 コマ数 2、

C-4 予防領域の理学療法 1、2、 コマ数 2、

C-5 チーム医療の中の理学療法 コマ数 1、

C-6 がんのリハビリテーション コマ数 1、

D 実地研修、

D-1 イ：自施設での受講、

協会作成のガイドラインを参考にしたプログラムによる受講、

ロ：自施設での受講、

施設独自の研修プログラムによる受講、

D-2 「他施設での見学研修」「e ラーニング」「症例検討会の聴講」 、

コマ数 32、

学びのススメ、

野島 菜央さん、 公益財団法人慈愛会今村総合病院、

私は、大学卒業後そのまま大学院へ進学したため、基本的には大学院で研究や勉強をし、週 2 日非常勤として臨床業務を行うという生活スタイルでした。そのため、e ラーニングは主に大学院での作業の合間にしていました。非常勤ということもあり、なかなか病院での勉強会等への参加が難しいことも多かったため、e ラーニングでたくさんのことを学ぶことができて、とても助かっていました！。

才とう 優輝さん、 社会医療法人美杉会おとこ山病院、

私はもともと自宅で勉強する習慣がなく、最初は e ラーニングを計画的に進めることができませんでした。しかし、周りの環境の影響もあり、次第に勉強への意欲が高まり、まずは e ラーニングを進めるため、帰宅後に 1 時間は勉強の時間に充てるようにしました。自分で計画を立て、行動に移すことで、少しずつ勉強を進めることができるようになり、前期研修カリキュラムを修了できました。

前期研修カリキュラム、

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/zenki_curriculum_20221109.pdf 、

前期研修実地研修、

<https://www.youtube.com/watch?v=RAjOXZ16YIg>、

前期・後期研修、登録理学療法士制度について、

https://www.youtube.com/watch?v=_Q34gY6PsJo、

【5 ページ】

後期研修、

3～5 年目最短履修期間：3 年間、

多様な領域で標準的（スタンダード）理学療法を臨床実践でき、学生や後輩を指導できるレベル、

士会主催研修会（対面 or オンライン）、e ラーニング、

後期研修カリキュラム、

F:座学 51 コマ（76.5 時間）、実地経験 3 年（36 ヵ月）、

A 臨床推論、

A-1 理学療法診断がく 1 コマ数 2、

A-2 理学療法診断がく 2 コマ数 2、

A-3 画像診断がく コマ数 2、

B 臨床疫学（演習） コマ数、

B-1 臨床疫学 1、2 コマ数 2、

B-2 文献検索演習 コマ数 2、

C 領域別研修（座学）、

C-1 神経系理学療法学 コマ数 19、

C-2 運動器系理学療法学 コマ数 19、

C-3 内部障害系理学療法学 コマ数 19、

C-4 病期別理学療法学 コマ数 19、

C-5 周辺領域と理学療法 コマ数 19、

D 関連領域、

D-1 栄養学 コマ数 1、

D-2 創しょう治療がく コマ数 1、

D-3 やく理がく コマ数 1、

D-4 福祉住環境総論 コマ数 1、

E 領域別研修（事例）、

E-1 神経系理学療法学 コマ数 2、

E-2 運動器障害系理学療法学 コマ数 2、

E-3 内部障害系理学療法学 コマ数 2、

E 領域別研修（育成）、

F-4 臨床実習指導 コマ数 2、

F-5 臨床教育方法論 コマ数 2、

F-6 ティーチングとコーチング コマ数 2、

F 最近の知見、

F-1 神経系領域の最近の知見 コマ数 1、

F-2 運動器系領域の最近の知見 コマ数 1、

F-3 内部障害系領域の最近の知見 コマ数 1、

F-4 基礎・公衆衛生領域の最近の知見 コマ数 1、

F-5 その他の関連領域に関する最近の知見 コマ数 1、

F-6 トピックス コマ数 1、

F-7 協会の方針 コマ数 1、

F-8 世界の動向 コマ数 1、

実地経験：3 年（36 ヵ月）、

在会会員としてマイページに勤務先登録のあること。

後期研修実地経験とは？

https://www.youtube.com/watch?v=BojJB_FnpRk、

C 領域別研修（座学）は全 19 コマの受講が必要です。C-1～C-5 で各 2 コマ（計 10 コマ）は必ず受講し、残るコマは全領域の中から選択して受講します。

C テーマ（詳細版）、

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/koukic_20231115.pdf、

E：領域別研修（事例）士会主催・士会承認症例検討会（対面 or オンライン）、

「領域別研修（事例）」って何？、

各分野での臨床推論および課題解決のプロセスを経験学習します。都道府県理学療法士会が主催するものと登録理学療法士取得者が開催申請を行い、都道府県理学療法士会が承認して開催されるものがあります。

士会主催症例検討会、

参加者により学びの場を与えるためにどんな工夫をして開催していますか？

千葉県理学療法士会、

登録理学療法士制度に対応するために新設した生涯学習局と各ブロックの学術担当者が連携し、士会主催症例検討会のブロック運営化を推進しました。現在、各ブロックで Web 開催が可能となり、士会主催の症例検討会を通じてブロックないや近隣施設の理学療法士との交流が深まっています。また、発表者がよりスムーズに症例発表を行えるよう、座長との事前打ち合わせやサポートもおこなっています。今後は、症例検討がより身近に、発表者のハードルが下がるような開催の工夫を心掛けたいと考えています。

池田一樹さん（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院）、

山形県理学療法士会、

会員が参加しやすく、かつ顔の見える関係づくりを促すため、主に県内 4 支部ごとに開催しております。また、発表者だけでなく聴講者も含め全員が主体的に参加できるよう、少人数でのグループワークを行い、意見交換や情報共有の機会となるよう工夫しています。同いつ症例を急性期、回復期、生活期ごとに発表し、患者の転帰を詳しく検討し各病期での介入を同時に振り返れる取り組みも行っています。対面形式を原則としていますが、移動時間の関係や家庭の事情で参加しにくい会員のために、オンラインを併用したハイブリッド開催も取り入れています。

石川慎一郎さん（独立行政法人国立病院機構 山形病院）、

後期研修カリキュラム、

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/kouki_curriculum_20221109.pdf

登録理学療法士制度についての詳細はこちらへ掲載しています。前期研修・後期研修の履修イメージや到達目標、カリキュラムなど、確認できます！

登録理学療法士制度について、

前期研修について、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/zenki/>、

後期研修について、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/kouki/>、

POINT、

- 1、著名な講師陣による豊富なカリキュラム、
- 2、ライフスタイルに合わせた学習支援、
- 3、OJT 導入による実践能力向上、
- 4、職場内教育の評価、
- 5、受講費負担の軽減、

6、5年更新制による知識のアップデート、

【6-7 ページ】

前期研修・後期研修の受講を通して、多様な障害像に対応できるジェネラリストへと成長できます。この前期研修・後期研修の修了者が、登録理学療法士となります。

登録理学療法士、

6 年目～、

登録理学療法士は、5 年以上の実践経験を有し、本会が定めた 150 時間以上のカリキュラムを修了した者に付与される称号です。

登録理学療法士になると何ができる？

本会は、社会に対して理学療法の質を保証するため、理学療法士が長く続けられる学びを支援するとともに、すべての会員が制度を通して、多方面の知識を幅広く備えた登録理学療法士（ジェネラリスト）であることを目指しています。

知識・技術を提供しよう！

登録理学療法士＝学びを拡げることができる、

都道府県理学療法士会主催、ブロック主催、日本理学療法士協会主催の研修会、講演会、ワークショップ等の講師ができます、

実地研修の実地指導者になれます、

症例検討会の座長になれます、

所属施設主催の研修会の開催者になれます、

より高い専門性を！、

登録理学療法士は、職業能力の向上ができる、

認定理学療法士を目指すことができます、

専門理学療法士を目指すことができます、

介護予防推進リーダー・地域ケア会議推進リーダーを目指すことができます、

所属施設主催の研修会の開催者になれます、

スキマ時間を活用して学べる！

皆さまのライフスタイルに合わせた学習環境の提供のためにさまざまな e ラーニングをご用意しています。

前期研修、後期研修、

登録理学療法士更新／認定・専門理学療法士更新対象コンテンツ、

介護予防推進リーダー／地域ケア会議推進リーダー 他、

登録理学療法士の役割とは？

https://www.youtube.com/watch?v=2KE3kg_ILz0、

e ラーニング、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/seminar/browse/02/>、

登録理学療法士更新、

10 年目、

さらに 5 年ごとの更新制とすることで、社会に対する理学療法士の質の担保の証とします。

登録理学療法士の更新要件、

理学療法士は、常に進化する医学と医療を実践するために、一生を通じて知識を深め、技術を磨き続ける責任があります。日本理学療法士協会は、理学療法士が自ら学び、研修を効果的に行えるよう、登録理学療法士になった後も継続的な生涯学習を支援します。学びは一生続くプロセスであり、さまざまな形で実践できることを示しています。

更新のための活動は更新年度の 12 月 31 日まで可能。

ポイントの取得（50 ポイント）※1 時間＝1 ポイント、

1、カリキュラムコードに準じた学習での取得、

1「JPTA NEWS」、「日本理学療法士協会雑誌 Up to Date」を利用した問題解答、

JPTA NEWS のバックナンバー、

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/topics/backnumber/>、

14Page※毎号 14 ページに掲載、

日本理学療法士協会雑誌 Up to Date、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/uptodate/>、

2、日本理学療法士協会 e ラーニングによる受講、バックナンバー、POINT、

1 の JPTA NEWS は偶数月に発行！ 日本理学療法士協会雑誌 Up To Date は年 4 回（2、5、8、11 月）発行！

2 はスキマ時間に視聴できます！

3、研修会・講習会・ワークショップ等の受講、

- i) 協会・士会・ブロックの主催のもの、
- ii) 士会が承認した会員所属施設主催のもの、

4、学会への参加、

2、雑誌投稿での取得 広報誌等への投稿・執筆（士会・協会が対象と認める発行物）、

更新時研修の受講 e ラーニングで受講、

ご注意ください Attention、

更新期限を過ぎてしまうと、追加の要件が発生します。計画的な学びの習慣を！

登録理学療法士更新について、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/registered/>、

【8-9 ページ】

より高い専門性へ、臨床実践分野において秀でている理学療法士、認定理学療法士、

取得までのモデルケース、
6 年目、登録理学療法士、受講、

認定理学療法士カリキュラム、
科目群、コマ数（時間）、研修形式、
指定研修カリキュラム、
12 コマ（18 時間）、e ラーニング、

日本理学療法学術研修大会の参加、
全日程参加、各大会による、

臨床認定カリキュラム（必須・選択）、
必須 15 コマ（22.5 時間）、選択 5 コマ以上（7.5 時間以上）、
オンライン or 対面（教育機関による）、

臨床認定カリキュラムって何？

各分野のシラバスにのっとり、保健・医療・介護施設、教育施設、都道府県理学療法士会等の組織が教育機関となって、その分野のカリキュラムを研修として実施しています。

認定理学療法士臨床認定カリキュラム、
https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/nintei_curriculum/、
※教育機関担当者連絡先等の詳細は、マイページのメニュー【生涯学習管理】→【各種検索・申込】→【教育機関検索】からご確認ください。

指定研修カリキュラムで学びを増やそう！、
指定研修カリキュラムのシラバスはこちら、
https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/shitei_syllabus.pdf、

日本理学療法学術研修大会へ参加しよう！
毎年 5 月頃に開催される日本理学療法学術研修大会への参加が必要です。
講習会・研修会、学術研修大会（全国）、
<https://www.japanpt.or.jp/pt/seminar/browse/01/>、

臨床認定カリキュラムで学びを深めよう！

臨床認定カリキュラムのシラバスはこちら、

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/rinshounintei_syllabus.pdf、

申請年の前年にすべて受講、

申請、認定試験、合格、認定理学療法士取得、

認定理学療法士に期待される3つの役割、

特定の理学療法分野において、より水準の高い理学療法を安全かつ適切に実施し、最新で良質なサービスを提供する理学療法士の役割、

自施設や教育機関等において、水準の高い理学療法を指導・教育することができる理学療法士の役割、

先駆的な取り組みやその成果など、診療報酬制度や政策提言に結びつくエビデンスを蓄積する理学療法士の役割、

21 認定分野、

脳卒中、神経きん障害、脊髄障害、発達障害、運動器、切断、スポーツ理学療法、と手理学療法、循環、呼吸、代謝、健康増進・参加、地域理学療法、介護予防、補装具、物理療法、じょくそう・そうしょうケア、疼痛管理、臨床教育、管理・運営、学校教育、

Epilogue、

リガクさんが学びのツールとして活用した生涯学習制度は、個人としての成長だけでなく、社会全体に貢献する理学療法士としての道を切り開くものとなりました。彼の姿勢は、同僚や患者さんにも大きな影響を与え、地域全体の医療水準の向上にも寄与しています。

認定・専門理学療法士制度について、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/>、

【10-11 ページ】

より高い専門性へ、学問的指向性の高い理学療法士、専門理学療法士、

取得までのモデルケース、

6 年目、登録理学療法士、受講、

専門理学療法士カリキュラム、

科目群、研修形式、

指定研修カリキュラム e ラーニング、

指定研修カリキュラムで学びを増やそう！

指定研修カリキュラムのシラバスはこちら、

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/shitei_syllabus.pdf、

都道府県士会主催の学術大会への参加、各大会による、

ブロック主催の学術大会への参加、各大会による、

日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会での発表、各大会による、
査読付き原著論文業績、

論文業績として対象となる雑誌はナニ？

日本理学療法士協会雑誌、

各学会／研究会機関誌、

都道府県理学療法士会学術雑誌 など、

論文業績申請について、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/#a5>、

申請、

口頭試問、

口頭試問について、

口頭試問では、提出したショーケースポートフォリオ、論文の内容に基づいて、理学療法学としてより学問的発展を倫理的かつ科学的に実践できる能力を問います。

ポートフォリオ作成例を2つ紹介!!

記載フォーマットは下記ページ内にあります。

https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/asset/pdf/portfolio_sample.pdf、

合格、

専門理学療法士取得、

専門理学療法士に期待される3つの役割、

それぞれの専門分野において、ピュアサイエンスとしての理学療法学の確立に貢献する理学療法士の役割、

自施設や教育機関等において、質の高い理学療法学を教育することができる理学療法士の役割、

先駆的な取り組みやその成果など、診療報酬制度や政策提言に結びつくエビデンスを蓄積する理学療法士の役割、

13 専門分野、

基礎、神経、小児、運動器、スポーツ、しん血管、呼吸、糖尿病、地域、予防、支援工学、物理療法、理学療法教育、

生涯学習制度は、新たな挑戦の原動力であり、これからも理学療法士の成長を支える大きな力となります。この制度は数年おきに見直され、皆さまとともにアップデートされていきます。

専門理学療法士ならびに認定理学療法士の資格を有することは、法人理学療法学会・理学療法研究会の一般会員（日本理学療法士協会会員）の会員要件の一つです。なお、一般会員は、専門・認定理学療法士であれば分野は問いません。

日本理学療法学会連合ホームページ <https://www.jspt.or.jp/>、

認定・専門理学療法士の更新要件、

5年毎の更新制とし、取得期間の最終年度に更新申請を行うことが必要となる。なお、一定の条件で更新延長を設ける、

6回目以降の更新要件は緩和する、

登録理学療法士を取得していること（登録理学療法士失効者は該当しない）、

認定・専門理学療法士の更新、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/#a4>、

【12 ページ】

トップメッセージ、
エビデンスを日常臨床にどう活かすか、
会長 斉藤秀之、

過去に、著名な脳神経外科医でもある大学教授から「理学療法士はなぜガイドラインに示されたエビデンスを活用しないのか？」と問われたことがあります。その際、私は 1930 年代から 1980 年代までの歩行練習の変遷をレビューし、「理論科学に基づいた経験そくに依拠した職人的な技術、または途上の技術が主流であった」と回答しました（理学療法ジャーナル 2008:1027-1034）。こんにちでは、理学療法はエビデンスに基づいて発展するようになりましたが、私たちのコミュニティ内においても、理学療法の様々な治療法において、過去のこうした文化を否定できない歴史と風潮があったことは事実です。もちろん、そうした治療法にも一定の価値があると考えています。しかしながら、ガイドラインやエビデンスを活用することが、患者や利用者の利益を最大化する事例や現象が多々見受けられます。したがって、ガイドラインやエビデンスを適切に活用できる理学療法士こそが、「臨床家として好ましい方向へ行動変容を遂げた」理学療法士であり、そのような理学療法士は「真のプロフェッショナル」と呼ぶにふさわしいと考えます。

このキャリア形成を支えるには、個の認知・精神運動・情意に働きかける組織環境を整備し、「知らなかったものを知る」「理解できなかったことが理解できる」「できなかったことができる」というプロセスを促進するための「職場教育」が重要と考えています。本会が見直した生涯学習制度には、まさにそうした目的と仕組みが含まれています。目指すべきは、リサーチマインドを持った臨床家であり、さらに自らエビデンスを創り出す「志」をそだてることです。研究室や高価な測定機器を使用する研究活動と同様に、日常診療そのものを“研究化”する心構えが大切です。

そのためには、「患者が最良の教師である」「注意深い観察が臨床研究のはじまり」「予期しないことや例外を見逃さない心構え」「臨床での偶然の発見が宝物」といった姿勢を大切に、日常診療を通して、臨床研究を育てることが求められます。臨床研究に必要な知識を吸収できる読書や、先輩や同僚との討論や対話をしゅう慣化することも重要です。皆さん、明日からこの実践をはじめてみませんか！

【13 ページ】

一緒に 60 周年記念を祝おう！、World Physiotherapy の Michel Landry 会長からメッセージをいただきました、

ボリューム 4、

世界理学療法連盟学会 2025 に登録し、世界中の仲間と繋がろう！、

9 月に学会参加登録が開始されました。理学療法の専門職における最大級の国際的な集まりであり、昔の仲間と繋がり、新しい仲間と出会うことのできる絶好の機会です。[参加をすることで以下のような機会や経験を得ることができます]

海外の仲間と対面で会える、

世界的な専門家や各分野のリーダーから最新の知見を学べる、

低、中、高所得国/地域での経験を反映した専門的なトピックスを世界的視点で聞ける、実践に役立つ新しい考え方や最新の研究を発見するー 過去の参加者の 80%が「新しい知識を得られることが大きな利点だ」と回答、

イデバタ・セッション、インダストリー・ワークショップ、タキビ・セッション（会話やネットワーキングを中心とするセッション）など、さまざまなインフォーマルセッション（気軽に参加できるセッション）で、専門職に関連するトピックの議論に貢献する。

スタートアップ・ゾーンやインダストリーワークショップを含む、業界の最新イノベーションとサービスを紹介する大規模な展示会を見学する、

【大会概要】

日時：2025 年 5 月 29 日（木）～31 日（土）、

会場：東京国際フォーラム（東京都）、

※第 60 回日本理学療法学会研修大会（2025 年 5 月 31 日（土）～6 月 1 日（日））と連続開催、

本会会員は、会員限定割引価格が適応されます。マイページより参加登録ください。

※当日の参加登録は会員価格が適応されません。

詳しくは、こちら、

https://www.japanpt.or.jp/privilege/international/world_physiotherapy_congress_2025/、

仕事を守る、生活を守る理学療法士と政治活動、
国政や地方議会で活躍する理学療法士や、連盟を含めいろいろな形で政治活動をおこなっている理学療法士に登場いただき、業界をとりまくさまざまな課題やその解決に向けた取り組みを紹介いただきます。

中田耕平、
1986 年 4 月、三重県津市生まれ、津市育ち。2009 年、畿央大学健康科学部を卒業し、理学療法士国家資格を所得。以降、総合病院で医療保険分野に従事し、介護老健保険施設において入所・通しよ・訪問リハビリに携わる。その経験を活かし、2018 年にみえつくし診療所リハビリセンターを開設。2019 年、認定理学療法士（地域理学療法）を取得。2021 年、株式会社 P5 を設立。理学療法士として、また地域住民として、地域と共に活動し、2022 年、津市議会議員に初当選。

病院から転職する際に、市町村ごとに介護保険の解釈やリハビリテーションに対する考え方が異なり、地域ごとの特徴があることを感じました。その中で、自分が住み続ける地域の医療・介護体制をより良くしたいという思いが強まり、さらに活動の幅を広げたいと市議会議員に出馬しました。現在、地域の皆さまの声に耳を傾けながら、理学療法士ならではの視点で医療・介護について議会質問や行政への要望活動に取り組んでいます。この 2 年半余り、無我夢中で取り組んできたなかで、自身の力不足を感じる場面も多々ありました。市議会議員として改めて痛感したのは、理学療法士やリハビリテーションに対する地域の理解がまだまだ不十分であるということです。地域社会において、理学療法士の力が必要とされる場面は数多くあります。臨床で結果を出すことはもちろんのこと、理学療法士の役割を広く発信していくことが今後の課題だと感じています。理解が深まることで、さらに多くの活躍の場が私たちに与えられるはずです。医療・介護現場では、理学療法士の今後を心配する声をよく耳にします。多くの理学療法士が医療保険や介護保険の下で従事していますが、その待遇を決定しているのは政治です。田中まさし先生のように、理学療法士を 1 人でも多く国政に送り出すこと、また地域の国会議員に理学療法士やリハビリテーションの重要性を理解していただくことが、そうした不安を解消するための最短の道です。業界全体が一丸となり、私たちの声を国政に届けられるよう努力していきましょう。私も三重県から精一杯頑張ります。

【14 ページ】

生涯現役、人の笑顔を見たかった、高山 ふみひろ、
特別養護老人ホーム高田光寿園・高田デイサービスセンター、
1950 年三重県津市生まれ。1985 年愛知医療学院卒業、特定医療法人暁純会榊原温泉病院就職。1995 年玉城町立玉城病院転職。2009 年社会福祉法人高田福祉事業協会へ転職。現在に至る。専門は現在も地域リハビリテーションであり、介護保険創成期より行政の地域支援活動などに積極的に関与し、現在も士会活動の介護予防事業など幅広く地域活動に従事している。

現在 74 歳、津市内の特別養護老人ホーム高田光寿園・高田デイサービスセンターにて週 3 日間の非常勤で再就職し、15 年が経ちました。利用者様の機能訓練を担当しており、地域との関わりがもともと好きだったこともあり、この仕事を続けていて本当に良かったと感じています。医療リハビリテーションとは異なり、私たちが提供するのは自宅での生活に密着したリハビリテーションです。身体機能を高めるだけでなく、残された機能を最大限に活用し、生活を豊かにすることが目的です。このようなリハビリテーションの中で、理学療法の技術が非常に役立っています。改善し、困りごとを解決すると、利用者様にとっても喜んでいただけます。その姿が、私の仕事に対する励みとなっています。私が就職した頃は、実技講習会を受けるために大阪や東京へ泊まりがけで行きました。AKA（関節運動学的アプローチ）の治療技術、パリスと手療法、筋膜リリースの講習会などに参加し、臨床技術を高めることができました。これらの技術は、今でも痛みの治療に非常に役立っており、患者様や利用者様の信頼を得ることができました。一緒に喜びを分かち合える瞬間は、私にとって貴重な経験です。また、ポジショニング・シーティング技術も習得しました。これは、姿勢を整え、いじょうの介助負担を軽減させるため在宅系のリハビリテーションを行っていくうえで役立ちました。さまざまな講習会に参加することで、患者様や利用者様に還元できることはもちろん、同じ目的を持つ仲間とディスカッションをする機会も得られました。講習会を通じて困った事例を相談し合えることもでき、非常に有意義な時間でした。

最後になりますが、私が理学療法士を目指した理由は、「人の笑顔を見たかった」からです。これからも、利用者が笑顔で過ごす時間を少しでも持てるよう、相手の困りごとに耳を傾け、動作をゆっくり観察しながら、ともに歩んでいきたいと思います。

コツコツ学ぼう！、登録理学療法士更新ポイント問題回答、
登録理学療法士の更新ポイントの取得方法の一つに、JPTA NEWS の問題解答があります。
全問正解で、1 ポイント取得できます！
登録理学療法士のかたは、更新資料をご確認のうえ、下記の QR を会員専用アプリで読み
込んで、ぜひチャレンジしてみてください！



カリキュラムコード 118 胎生期における発達過程、
解答期限は 12 月 19 日まで、
マイページのセミナー検索画面からも申込可能（セミナー番号：127218）、申込期限は「12
月 18 日」です。
※解答完了後、翌日中に履修履歴へ反映されます。
登録理学療法士制度の概要はこちら
<https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/registered/>、
コツコツ学ぼう！登録理学療法士更新ポイントに関するお問い合わせは、本会ホームページ
FAQ からお願いいたします。

【15 ページ】

INFORMATION、

マイページのご利用について、

ログイン ID パスワード (PW) の再発行、

マイページへログインできない場合は、マイページログイン画面下の「ログインできない方はこちら」より、ID・PW の再発行申請をお願いします。(注) お電話による ID・PW のご照会はおこなっておりません。

<https://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html>、

会員マイページ専用アプリのご案内、

本会では、会員マイページ専用アプリを提供しています。専用アプリでは、マイページへのオートログインや QR コード読取機能による研修会参加受付が可能になるほか、本会・都道府県理学療法士会からのお知らせがプッシュ通知で受信できます。ぜひ、アプリをダウンロードのうえ、ご活用ください。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/newssystem/>、

会費割引制度のご紹介、

本会では、「育児休業」・「シニア」・「海外会員」について年会費の割引制度を設けております。

本会ホームページにて申請条件をご確認の上、対象となるかたはマイページからお手続きください。※申請された翌年度の年会費に割引が適用されます。(～2 月 20 日まで)

理学療法士の方向けサイト、各種手続き、年会費割引制度申請、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/06/>、

クラブオフ 今回のおすすめ！

メガネを通して美しく豊かな人生を。

メガネの J I N S メガネ、サングラス、オプションレンズ代 10 パーセント OFF、

※他の割引・優待等との併用はできません ※一部クーポン対象外となる商品がございます。

ご利用の際には、「日本理学療法士協会 クラブオフ」へ登録・ログインください。◎その他サービスの詳細は Web で検索、

協会運営に関するご案内、

2024 年 10 月 19 日(土)に第 4 回理事会が開催され、10 月 20 日(日)には組織運営協議会が

開催されました。理事会抄録については、会員限定コンテンツよりご覧ください。

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/management/minutes/#title02>、

今後の予定、

2024 年 12 月 7 日（土）：賛助会員懇談会、第 5 回理事懇談会、

2025 年 6 月 7 日(土)、6 月 8 日(日)の 2 日間開催：2025 年度第 54 回定時総会、

異動手続きについて、

所属施設・自宅住所の変更等の会員登録内容の変更は、本会ホームページの手続案内をご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※施設情報の変更は、施設会員代表者または施設会員代表者代理に割り当てられた方が行ってください（【マイページ】→【登録内容の変更・確認】→【施設情報管理】）。※海外会員に登録される場合は、会費の支払い方法について確認させていただきますので事前に本会事務局へご連絡ください。

勤務先・自宅住所・氏名等の変更、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/01/>、

休会・退会・復会の手続きについて、

会員区分の変更は、本会ホームページにて各種手続きをご確認のうえ、マイページからお手続きください。

※休会を継続する場合、1 年ごとの申請が必要です。申請受付期間（1 月 1 日～3 月 31 日）にご申請ください。手続きがない場合は規定により退会となります。※退会后、生涯学習履歴・取得資格は無効になります。また、納入済みの当年度年会費はご返金いたしかねます。

休会中・退会后は以下の権利が停止となります。

各種研修会・学会等への会員価格での参加（非会員理学療法士と同様の対応となります）、各種学会への無料での演題登録、

会報誌「JPTA NEWS」の発送、

理学療法士賠償責任保険への加入（全員加入・任意加入）、

福利厚生サービス「クラブオフ」の利用など、

役員候補者選挙および代議員選挙の選挙権、被選挙権、

各種手続き、

<https://www.japanpt.or.jp/pt/announcement/member/>、

マイページ、登録内容の変更・確認、本人情報の確認・更新、

<https://mypage.japanpt.or.jp/mypage/member/dataChange/confirm>、

【裏表紙】

HOTTOPICS、

JICA 海外協力隊連携派遣開始について、

本会は JICA（国際協力機構）と合意書を締結し、本会が推薦する会員を JICA 海外協力隊の隊員として海外へ派遣する連携事業（長期・短期）を開始します。2030 年まで約 5 年間で、複数名の会員を推薦・派遣する予定です。本事業に関する説明会や国際活動への協力者の人材バンク登録などの情報は、本会国際事業課の SNS (Facebook、Instagram、YouTube) でも配信しています。ぜひ、登録・フォローをお願いします。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/international/workandstudyabroad/>、

「2024 職場における腰痛予防宣言！」にご参加ください、

日本の業務上の疾病で最も多いのは「腰痛」です。特に保健衛生業においては、業務上疾病の約 8 割を占めています。腰痛は従業員の休職や退職を引き起こし、個人の健康問題にとどまらず、経営者にとっても労働人材の確保や労働生産性の低下という深刻な問題となっています。今年で 4 年目を迎える本キャンペーンでは、例年と同様に、会員の皆様が各施設で実施される腰痛予防の取り組みを支援いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

<https://www.japanpt.or.jp/pt/function/healthpromotion/>、

日本理学療法士協会雑誌 Up to Date NEWS、第 2 巻 第 4 号 発刊予告！、

今号は「第 59 回日本理学療法学会研修大会 in 東京」の特集号です。発刊は 11 月 20 日（水）を予定しております。

投稿論文募集中！

詳しくは本会ホームページ掲載の「投稿規定」をご確認ください。

雑誌は本会のマイページから閲覧ください。

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/lifelonglearning/uptodate/>、

4 年制大学化推進部会シンポジウム開催のお知らせ、

4 年制大学化推進部会では、議会・行政関係者や研究・教育等に携わる有識者をお招きし、シンポジウムを開催いたします。

ご興味ある方は、ぜひご参加ください。

日程：2025 年 1 月 26 日（日）13:30～16:00、

受講費：無料、

開催形式：オンライン、

受付方法：本会マイページの「セミナー検索・申し込み」から。(セミナー番号：130737)、

※先着順となります受付期間：12月15日(日)まで、

※本シンポジウムは、開始から終了まで、すべてを受講することにより、登録理学療法士更新ポイントまたは、認定・専門理学療法士更新点数取得が可能です。

公益社団法人 日本理学療法士協会会報誌、号数：No.351、

発行日：2024年10月20日、

発行人：公益社団法人 日本理学療法士協会、

〒106-0032 東京都港区六本木七丁目11番10号、

TEL：03-5843-1747 FAX：03-5843-1748、

代表：斉藤秀之、

編集：日本理学療法士協会 事務局、

本会 HP：<https://www.japanpt.or.jp/>、